

千葉県家庭教育支援チーム「こもんず」の文部科学大臣表彰の受賞について

千葉市で実施している家庭教育支援基盤形成事業において結成された千葉市家庭教育支援チーム「こもんず」が、令和5年度「家庭教育支援チーム」の活動の推進に係る文部科学大臣表彰を受けることが決定しましたので報告します。

1 表彰の趣旨

全ての保護者が安心して家庭教育を行えるよう、地域における家庭教育支援活動の一層の推進を図るとともに、「家庭教育支援チーム」の優良事例の広報、研究の進展および認知度の向上に資するため、特色ある優れた活動を行っている「家庭教育支援チーム」に対し、その功績をたたえ、文部科学大臣が表彰するものです。（平成29年度から隔年で実施、今回で4回目）

2 被表彰活動数

20活動（千葉県内は2活動）

3 表彰日

令和6年2月9日（金）

4 被表彰活動内容

千葉市家庭教育支援チーム「こもんず」

結成 平成20年度 構成員数 8人

活動拠点 園生小学校 活動地域 小中台中学校区

5 被表彰に至った経緯

子育てに関する学習機会の提供、子育てに関する悩みや家庭教育の相談の対応、新たな地域人材の養成など、その活動内容が他の活動と比較して顕著に優れていて、地域全体への普及効果が高いと認められ、当該地域における家庭教育支援活動の推進に効果をあげていることが評価されました。

(1) 背景

地域社会のつながりが希薄化し、子育ての悩みや不安を抱えたままの保護者が孤立してしまうことなどが心配されている中、地域全体で家庭教育を支援する持続可能な仕組みの一つとして、子育てサポーター、臨床心理士、保育士、民生委員、主任児童委員等の地域の人材で構成した千葉市家庭教育支援チーム「こもんず」が結成されました。

(2) 主な取り組み内容

「地域における家庭教育基盤形成」を自分たちの地域の課題であると位置付け、子育て学習講座として「子育て親育ち講座」の開催、子育てに関する悩み相談に対応する「こもんず広場」（子育て井戸端会議）と「こもんずカフェ」（個別相談）の開催、子育てに関わる地域人材などの情報収集・ネットワーク化などを行っています。

また、公民館と連携して成長期の女の子の心と体の変化について知る「ツボミスクール」や、性教育講座などを意欲的に開催しています。